

スポーツ・武道実践科学系

氏名 **小 澤 雄 二** 教授



主な研究テーマ

- 安全で効果的な武道の指導のための用具の研究・開発
- 柔道の授業のための実践的指導プログラムの研究・開発
- 柔道選手の競技力向上に関する研究

これまでの研究内容とその成果

＜開発・実用化した用具＞

- ①場所を選ばずに短時間で設置でき、土俵円の周りを高さのあるソフトマットで囲むことで、初心者でも安全に相撲ができる「簡易安全土俵マット」(図1. 実用新案登録：第3167492号)
- ②体育館などの平板床に簡易な作業により、柔道畳を堅固に維持固定できるソフト畳止め枠「トメ太郎」(実用新案登録：第3138192号)

＜教材化した実践的指導プログラム＞

- ①中学校学習指導要領に示されている柔道の投げ技を用いた「形」

- ②授業で使える柔道の「投げ技をかける『きっかけ』」
- ③授業で使える柔道の「受け身」のドリルゲーム

これからの研究の展望

「安全で効果的な武道授業の実施」のために有効な、用具及び実践的指導プログラムの開発を通して、地域社会におけるスポーツの活性化や実践的共生教育の教材化を目的としています。

武道の中でも柔道は、相手の動きに応じた技の攻防や「精力善用」、「自他共栄」の精神の基、相手を敬い尊重する態度を重ん



(a)武道授業における使用例1



(b)武道授業における使用例2

図1 先行研究により実用化した「簡易安全土俵マット」の概要



じています。したがって、元来は体格・体力差のある人との稽古を通して、力の加減を学んだり、受け身を取る人の痛みを理解したりする中で、コミュニケーション能力を高められるような「共生」を育む側面もっています。

このような柔道のもつ「共生」の精神育成を基盤として、上記のような用具や実践的指導プログラムの開発を行い、地域社会のスポーツ振興と実践的共生教育の教材化を進めていきたいと考えています。